

# 自分らしい生き方、働き方を探して

女性の社会進出が進んできた中でも、職種によって男女比が大きく偏ることがあります。今回は、女性が少ない職場で働く秋田市の女性2名に、仕事における女性ならではの強みや、男性社員との協働のコツなどを伺いました。

## バスの運転士に憧れて

秋田中央交通株式会社の運転士として、日々大きなバスを乗りこなし、明るい笑顔で乗客と接している橋本里香さん。全国的にも少ない路線バスの女性運転士の1人です。

もともと通学や通勤でバスを利用する中で、運転士への憧れを抱いていた橋本さんですが、運転士募集の求人に応募した時点では、オートマ限定を解除して間もない普通免許のみを所持。そこで入社前に社内の養成制度を利用して大型2種免許を取得、さらに約2ヶ月間の研修でバスの基本的な仕組みから運転技能まで学びました。「バスは車体が大きい分、操作面で苦労しましたが、研修で大切な基礎から学べたのが良かったです」。厳しい研修を乗り越え、2019年8月から晴れて運転士としてデビューしました。



橋本さん ある仕事の1日

4:00	起床
5:40	出勤
6:40	営業所からバス発車(出庫)
12:05	休憩・昼食
14:45	営業所へ帰着
15:00	退勤 買い物や食事・家事
21:00	就寝

## 先輩社員から学ぶ日々

橋本さんが担当する路線は毎日変わります。朝早く出社することもあれば、午後から仕事という日もあります。路線ダイヤを乱さないように、トイレに行くタイミングを調整したり、運転するバスは車体によってクラッチやブレーキの加減が異なるため、合わせるのにコツが必要です。「まだまだ経験不足なので、数多くバスに乗って学んでいくしかありません。分からないことがあると、車庫にいる時や待機時間にベテランの先輩に聞いて教えてもらっています」と橋本さん。運転士は男性が9割を占める職場ですが、互いに協力的に教え合う関係性が築かれています。

## 安全安心な運行を目指して

バスの運転士はお客様の命を預かる仕事でもあります。そのため、橋本さんが心がけているのは事故を起こさない安全な運行です。「怖がっているくらい、緊張感がある方が良く先輩にも



今日も笑顔で安全運行

いつでも初心を胸に

### 秋田中央交通株式会社 臨海営業所

路線バス運転士 橋本 里香(りか)さん

1985年生まれ。様々な職種を経験した後、2019年6月に秋田中央交通株式会社に入社。大型2種免許を取得し、社内訓練を経て同社では7人目の女性の路線バス運転士に。趣味は買い物や湧水スポット巡り



女性技術者のスペシャリストに

専門スキルを磨き上げ

### 株式会社NTT東日本-東北 秋田支店 設備部

秋田サービスセンタ 柴田 夏帆(かほ)さん

1997年生まれ。工業系の高校を卒業後、2016年に株式会社NTT東日本-東北 秋田支店に入社。秋田サービスセンタに配属され現在5年目。若手のリーダー的な存在として研修講師なども任されている。ネイルで気分転換がお気に入り

## 専門性を高めてキャリアアップ

株式会社NTT東日本-東北 秋田支店の設備部に所属する柴田夏帆さんは、企業や家庭に赴き、電話やネット回線の修理復旧などを行う現場で活躍している女性技術者です。技術とコミュニケーションの両方に関わる仕事であることに魅力を感じ、入社を決意。技術者として必要となる国家資格を取得するために、高校在学中からコツコツと自ら学習していたという努力家です。

「専門性のある仕事なので、入社当初は覚えることが多くで大変でした」と話す柴田さんですが、入社後も社内研修などを積極的に活用し、数々の資格を取得。現在は高所作業車を運転し、電柱の上での高所作業を行うなど、全ての業務を任される頼れる存在です。

24時間体制でいつでもサービスを提供するために、時には夜間に緊急出勤となること



も。それでも「仕事楽しく、やりたいこと、好きなことができていくのが幸せ」と、充実した日々を送っています。

## 女性だからこそ輝ける部分も

男性のイメージが強い技術者ですが、手先が器用な女性の方が向いている部分もあり、「重いものを運ぶ作業は大変ですが、そんな時は男性技術者に協力してもらっています。男女それぞれが楽に作業ができるように工具や防具なども改善され、働きやすい環境が整ってきていると感じます」と柴田さん。

また、女性の一人暮らしのお宅やレディースクリニックなど、男性技術者が入りづらい場所では、柴田さんのような女性技術者がいることが重宝され、高齢の女性に「今は女性もこんな仕事ができるのね、がんばって!」と言われたこともあるそう。それぞれが職場内でうまく作業分担ができています。

## 技術者のスペシャリストへ

今では、豊富な専門知識やスキルを生かして研修講師を務めるなど、後輩の指導も行う柴田さん。目指すのは、女性や子どもたちが憧れるような技術者。今後のキャリアについて、「結婚、出産をしても働き続けたいと思っています。自分の得意としている分野をもっと磨き、社内でも頼ってもらえるようになりたいですね。また、未だに女性になりづらいと思われる技術職ですが、子どもたちや高校生に対して、こういう働き方もあるんだと示せる存在になりたいです」と話してくれました。

### 上司から一言!

担当課長 齊藤 寿さん



以前は女性の技術者がゼロでしたが、現在では5名に増え、女子休憩室や女性専用の洗濯コーナーを配備するなど整えてきました。男女それぞれが働きやすいような環境づくりをしています。女性技術者は仕事が丁寧で、お客様と和やかにコミュニケーションができると感じています。

柴田さんは仕事にとても真摯に取り組み、吸収しようとする意欲も高い。これから後輩に技術を繋いで、次のステップへと進んでほしいです。